

平成28年度

第1回中央区環境行動計画推進委員会

日 時 平成28年8月3日(水) 14:00～16:12

場 所 中央区立環境情報センター研修室

【議事の概要】

議題(1) 中央区環境行動計画事業の目標達成状況(資料1)

委員からの意見等

- 1 計画事業には、数値目標を定めた事業と定めていない事業があるが、そのように区別した理由を整理するとともに、数値目標のない事業でも、重点プロジェクト(二酸化炭素削減、ヒートアイランド緩和、区民・事業者・区の連携)に含まれるものもあるので、きちんと評価しなければならない。
- 2 個々の事業の達成状況ではなく、基本目標(地球環境、都市環境、生活環境、自然環境、地域の環(わ))ごとに、総括的な評価を行ってほしい。
- 3 目標達成が難しい事業があるなら、その理由をできるだけ具体的に記載してほしい。
- 4 数値目標に達すればよいという訳でもない。区民の協力により、どんな成果が得られたかなど、もう1歩踏み込んだ評価が必要である。
- 5 達成率の低い事業は、普及啓発も大切だが、政策面で何が欠けているかなどの評価も必要である。

区の回答

1～5 事業の評価方法及び課題と方向性の記載方法を検討し、次回の資料に反映させる。

議題(2) 中央区コミュニティサイクル事業実証実験の利用実績(資料2)

委員からの意見等

- 1 連携区(千代田、港、江東)の利用状況はわかるか。
- 2 イベント用ポートとは具体的に何か。
- 3 イベントでのPRを拡大していけば、利用者の増加にもつながる。

区の回答

- 1 次回報告する。
- 2 事業開始当初、PR用として臨時に設置したものである。

- 3 今後も機会を捉えて、試乗や登録案内等、積極的なPRを行っていく。

議題（3）環境情報センター利用等実績（資料3）

委員からの意見等

- 1 資料中の団体登録数は、年度分だけでなく、累計件数も記載したほうがよい。
- 2 「子どもとためす環境まつり」（主催：中央区環境保全ネットワーク）とは何か連携しているか。
- 3 「まつり」が区との共催ならば、資料中に共催事業として記載したほうがよい。

区の回答

- 1 次回の資料では記載する。
- 2 直接連携はしていないが、「まつり」の手伝いに参加する子どもの中には、環境情報センターの活動クラブ「中央エコキッズ」に登録している小学生もいる。
- 3 次回の資料では記載する。

議題（4）中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画の概要（資料4）

委員からの意見等

- 1 前計画と今回の計画との関連付けも必要なので、両計画を通して、エネルギー消費原単位の推移を分析してみたらどうか。
- 2 大規模な施設が建設されると、原単位が自ずと大きくなるので、施設ごとに目標を定めたらどうか。
- 3 「その他の施設」の占める割合が大きいと、原単位の変動も多くなるが、具体的にどんな施設か。
- 4 区民サービスの観点から言えば、施設の稼働時間増加は必須なので、現場の職員には、取組内容（エコオフィス活動の推進など）を着実に実践してもらうこととなる。
- 5 各施設が新電力事業者から供給を受けるケースもあるが、国には、その係数で算出した実際の排出量を報告しているのか。

区の回答

- 1 分析を検討する。
- 2 各施設（本庁舎、大規模施設、区立学校、その他の施設）の特性を考慮し、それぞれの目標を設定したうえで、区全体の目標を定めている。
- 3 区施設の床面積全体の約5割を占めており、例えば、区民館などがある。
- 4 各現場での取組を徹底させる。
- 5 計画上は、東京電力㈱の係数で統一しているが、国への報告は、それぞれの事業者の係数に基づくものである。

議題（５）温室効果ガス等排出状況（資料５）

委員からの意見等

- 1 資料４の排出量とはどう違うのか。

区への回答

- 1 資料４は、１件の事業所として、区の組織全体の排出量を算出したものである。

本資料は、区も含め、中央区の区域全体の排出量に関する数値であり、(財)特別区協議会が集計し、公表しているものである。

議題（６）中央区環境マネジメントシステム（EMS）の概要（資料６）

委員からの意見等

- 1 区内部で正式な結果報告を行っているのか。
- 2 環境監査については、これまでの優良事項を整理のうえ、事例集などを作成して公表してみたらどうか。優良な部署の傾向が見えるかもしれない。

区への回答

- 1 庁内組織の環境保全推進委員会で報告している。
- 2 検討する。

以上